



## 新潟市北区の概要

### ■位置

北区は新潟市の北東部、阿賀野川下流右岸に位置しています。東は新発田市、聖籠町に、南は阿賀野市に隣接しています。

方位	緯度・経度 (世界測地系)
極北	北緯 38°01'
極南	北緯 37°51'
極東	東経 139°16'
極西	東経 139°07'

面積	107.92 km <sup>2</sup>
----	------------------------

区役所所在地	新潟市北区東栄町1丁目1番14号
--------	------------------

### ●人口 (2020年11月30日現在)

	北区	新潟市
合計(人)	73,286	785,126
男	35,850	378,145
女	37,436	406,981
世帯数(戸)	29,532	343,581



▲海から 1993(平成5)年



▲阿賀野川から 1993(平成5)年



▲福島潟から 2004(平成16)年

### ■地形

北区は、中央部葛塚から北部の日本海まで、海岸線と平行に形成された砂丘列地帯が、市内でも最も発達した地域です(マップの黄色部分)。これは新潟型砂丘と呼ばれ、区内には9列あり、標高20mを超えるとところもあります。遺跡の内容などから、内陸にある砂丘列ほど形成時期が古いことがわかっています。砂丘上には松林が残され、砂丘列と砂丘列の間の低地(サンベ)は、水田となっています。

南には阿賀野川や駒林川の氾濫原であった豊栄低地が、見事な美田として広がっています(マップの薄黄色部分)。

東南には福島潟があり、流出する新井郷川は日本海に注いでいます。

阿賀野川、新井郷川、砂丘列、福島潟、遠くには二王子岳や五頭連峰、いつも見慣れた景色の中に、大地の誕生を解く鍵が隠されています。北区は越後平野のおいたちを物語る典型的な地域です。

### ■豊かな自然—福島潟—

262haの湿原「福島潟」では、220種の鳥類と470種の植物が確認されています。国際的にも注目されている自然の宝庫です。

夏には、絶滅が心配されるスイレン科のオニバスが観察できます。保護が徹底し、毎年花を咲かせ、種を作っている全国でも数少ない場所の1つです。

冬のシンボルは、国の天然記念物で、ガンの仲間であるオオヒシクイです。飛来数は5,000羽を超え、福島潟は国内最大級の越冬地です。



▲オニバス



▲オオヒシクイ (2015年1月 北区の鳥に制定)